

		シラバス(講義計画)	講義の具体化 ①	講義の具体化 ②	メモ	
1	9_27	企業の目的と環境経営の定義 顧客価値と企業価値 利便性価値と環境価値	講義ストーリーの説明のみ	紹介	原発事故を例に講義せよ 何が環境の面から問題か 環境を考えるうえでの重要事項の抽出: ・法制度面 ・政治 ・業界	
2	10_4	① 自然循環依存期 ② 利益優先による環境問題なおざり期	環境問題とは何かを説明 ①	環境問題 ・自然を支配している法則 ・自然の秩序	◆人間の生存条件の劣化 ◆生産条件の劣化 ◆人間は動物である ◆人間はQOL確保のために、社会・経済活動の基盤が必要	◆「環境経営」とは、環境との調和を前提として、企業の目的を効果的に効率的に達成する基盤を提供する学問と定義する。基盤は、判断を適切に行うための情報および方法論をさすものとする。 ※環境経営の考え方をライフサイクルをとおして説明する。 然らば、環境問題とは何かを考えること ★人間の生存条件の劣化 ★生産条件の劣化 これを踏まえて、環境問題に適切に対応するために、学ぶべきことを謙虚に学ぶということ ★自然を支配している法則 ★自然の
3	10_11	③ 環境破壊物質の拡散とエネルギー資源の制約への対応期 ④ 持続可能な社会への挑戦期	環境問題とは何かを説明 ②	環境問題 ・エネルギーについて考える	★生態系のバイオマスと、生産速度 ★食物連鎖と生物濃縮 ・放射性物質にうかがわれる生物濃縮 ★用語の理解	
4	10_18	★持続可能な社会、その反省と教訓 ★持続可能な社会がめざす方向と課題	VE全国大会： VE功労賞受賞のため欠席			
5	10_25	★環境負荷の低減 ★マイナス循環を断つ代替手段選択開発 ex. フロン・オゾン層破壊	環境問題とは何かを説明 ③	環境問題とは何かを説明 ③		
6	11_1	・プラスの循環をめざすゼロエミッション構想 ★リコ-と国母工業団地のゼロエミッションなど	企業における環境問題の捉え方 ① 環境 ... 公害など、概要紹介	環境問題とは何かを説明 ④	ここで、環境論の講義の目的をつけること...4回で説明完了した！ ★環境経営のコンセプトとツールの理解に必須のインベントリー分析を紹介しておくこと(済み)	
7	11_8	・新ビジネスの創造 ー インパース・マニファクチャリング ★リコ-のコメットサークル ★パナソニックエコテック/ロジ-センターの取組み	企業における環境問題の捉え方 ② 環境 ... ケース紹介 ・オゾン層の破壊 ・原発事故 ・アスベストなど	★環境問題を考える際に留意すべきキーポイントを紹介し(pp28-9)、これを踏まえて、環境経営の1つの方法論としてCSRの目指すところを紹介せよ ★CSR	ここで、CSRの説明をせよ MAX2回ぐらいで	★CSR ・地域別CSRの特徴にふれる ・事例紹介として、エンロンを取り上げること ★コーポレートガバナンスを簡単に紹介
8	11_15	・新ビジネスの創造 ー 企業連携による静脈産業(株)関東エコリサイクルと家電リサイクルNWの紹介	企業における環境問題の捉え方 ② CSR	企業事例 ①	世界の各地域でのCSRの特徴 SRI	◆ここから、環境経営の講義にはいる
9	11_22	・新ビジネスの創造 ー 代替エネルギーと炭素税 木質バイオ、風車、太陽エネルギー、ペクショ-、岩手県葛巻町など	企業における環境問題の捉え方 ③ CSR	企業事例 ②	CSRのキーコンセプト ①サステナビリティ ・社会の持続可能性 ・企業の持続可能性 ②ステークホルダー 僕の提唱している、ライフサイクルにわたってのバリューデザインの話をする。	これは除外: compliance 法令遵守と企業統治
10	11_29	★(株)ノーリツつくば工場のNRPS ★住金(株)鹿島製作所の3Rの紹介	企業における環境対策 ①	リバー ・エンジニアリング	① 環境VEの観点からリコ-とボルボを説明できないかを検討せよ ② これが難しい場合は、環境保全の観点からリコ-とボルボを説明できないかを検討せよ ③ 次の策は、環境経営に求められるライフアセスメントの方法論の展開を検討せよ ④ 最後にQFDを検討せよ ⇨ これは今回除外しよう	リバー・エンジニアリングを2回位説明せよ
11	12_6	★ISO環境マネジメントシステム ★LCA	企業における環境対策 ②	QFDの技法紹介:	環境経営に求められる考え方、方法論など ①経営面 ②製品やサービス面	QFDの技法紹介: 2回位せよ → この方法論は、VMで講義したほうがよいかも
12	12_13	★製造物責任から汚染者負担原則、拡大生産者責任へ	企業における環境対策 ③	QFDの技法紹介:	リコ-の環境経営の紹介	
13	12_20	★クロス・ト・NWとオープンNW ★ソフトとハードのテクノロジー	企業における環境対策 ④	レビュー		
14	1_10	復習 講義内容の集約・補足、理解度確認などにあてる	最終講義日	TEST		
	1_17	代替金曜日の講義(仮)				